

THE ROTARY CLUB



OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

## YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985-86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット 仲よく 語ろう ロータリー

第 385 回 例会 61 年 3 月 6 日 第 391 号

### 出席報告

| 会 員 数 | 出 席 数 | 出 席 率 | 前回の修正 |
|-------|-------|-------|-------|
| 53 名  |       |       |       |

欠 席 者

省略

本日のプログラム 3 月 13 日

迫田浩子嬢「財団奨学生として学んで」

次 週 予 定 3 月 20 日

吉利正勝氏「ロータリーについて」

司会 SAA 辻 国明君

ソングリーダー

### 《会長報告》

皆さん こんにちは。

I G F も終りましてホッとした気分で本日のフォーラムを迎えました。I G F には大勢の方の御出席を頂きまして大変嬉しく思っております。

○2月27日木曜日にいすゞモータースの2階に於きまして、職業奉仕委員会によるところの炉辺会合が開かれました。18名の方がお集まり下さいまして、清水さんのご提言によりまして Service above Self か Service and Self かというテーマについて楽しい一時を過ごしました。炉辺会合は楽しいものです。今後も開かれますのでぜひおっくうがらずに御参加頂きたいと思ひます。

○お手許に回しておりますが、マーメイドビーチ R C から私宛に來ました手紙です。一週間程前に

ジェフ・マーティン君より電話がありまして、ジェフを送り出した R C とは違ふクラブですが、彼はいろいろと顔を出しているようです。内容としましては、100ドル位のおみやげをお互いに交換しようではないか。そして、それぞれのクラブでそのおみやげをオークションにかけて、その売上げを各々のクラブの奉仕活動の財源にしてはどうかという呼びかけなのです。

詳しい事はジェフにもう一度きいてみようと思っています。試みとしてはおもしろいのではないかと思いますので、国際奉仕委員会とも協力し、話を進めてみようと思っています。

○飯島順一郎さんのお母様が御逝去なさいまして3月2日、幹事共々霊前に香典と花輪を添えて弔慰を表してまいりましたので御報告申し上げます。

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40  
大和市中心会館内  
☎0462-63-7926  
例会場：大和市中心1-4-4  
八千代信用金庫大和支店4階  
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より  
会 長：上 田 利 久  
会長レク：藤 田 重 成  
副 会 長：富 沢 重 徳  
幹 事：近 藤 富 士 男  
会報委員：松 崎・種ヶ島・木 村

## 《幹事報告》

○本日の会費（13,000円）は来週以降に事務局の方へ納めて下さい。

○飯島さんの香典に慶弔規定に沿いまして1人、2,000円の醸金となりますので同じく事務局の方へ納めて下さい。

## 《委員会報告》

国際奉仕委員会

委員長 後藤定毅君

3月8日に迫田浩子さんのピアノリサイタルが日野市で行なわれるわけですが、15名程の方々の参加がありまして、皆で一緒に行きましょうということで、バスをチャーターして4時30分頃に大和と南林間に集合して頂きまして行こうと思いますので、よろしくお願い致します。

### 第6回クラブ協議会



#### 『 I G F を終えて 』

第一部のフォーラムですが、ロータリーはどこへ行くということでサブリーダーによりまして、プレゼンテーションがありました。この中で浜田さんは卓話で話して頂いたことのある触れ合い運動をおり混ぜながらの青少年問題、ロータリーの教育的形成作用の必要性をお話し下さいました。

他にも何人かの発言がありましたがそのことについては省略させていただきます。

第二部の津田バスターガバナーの規定審議会の報告につきましては、23-34号の件が御承知の通りになりまして、他の案件についての説明をしながら、サラッと話されましてなんとなく終わったという感じでした。

―― ＊ ――― ＊ ――― ＊ ―――  
決議23-34号についての討論がくり返えされましたが、前のクラブ協議会と類似していますので勝手ながら省略させていただきます。（会報委員会）

―― ＊ ――― ＊ ――― ＊ ―――  
我々の今回の I G F についての焦点はなんといっても決議23-34号の行方だったと思いますが、今回の I G F に盛り上がりがなかったのはなぜだろうか？

I G F というのは新年度になってすぐに計画され、その時点ではあんなに簡単に決議23-34号が復活されるとは思わず、もしかしたら消されてしまうのではないかという気持ちで、今回の I G F が計画されたわけです。

それで津田さんも話すことがなくなってしまい、ロータリーはどこへ行くの方もどこかに行ってしまったようでした。

知らぬ間に勝手に消されたり、かと思うとアッという間に復活されたりするということは我々としてはなんとなく納得できぬところであります。津田さんも含めて我々は R I におちょくられているみたいでスッキリしないという気持ちです。

R I はクラブの集合体であるから我々個人ではなく、大和中クラブがクラブとして R I に対してしっかりした意見を持つことが必要であろう。そして3年後の規定審議会に中クラブの意見として提案することも考えてみたらどうだろうか。

終始23-34号についての討論であった今回の協議会は I G F より中身のあったことを皆で確認しつつ、心ワクワクの懇親会へ席を移すことになりました。

